



S.Setoguchi

## THE TAKAMATSUNOMIYA KINEN

## 第55回 高松宮記念 (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 170,000,000円 68,000,000円 43,000,000円 26,000,000円 17,000,000円  
付加賞 3,864,000円 1,104,000円 552,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 58<sup>♂</sup>、牝馬2<sup>♂</sup>減

2025.3.30 中京 晴・良 芝1200m (国産) (確定)

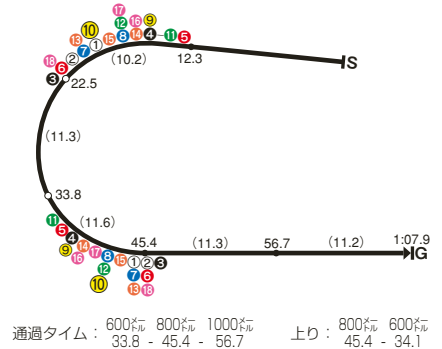
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナ 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティ グ
1	⑩	サトノレーヴ	牡6	58	J.モレイラ	1:07.9	7-9	33.4	530(-7)	3.8②	堀 宣行(美浦)	118
2	⑭	ナムラクレア	牝6	56	C.ルメール	13-13		33.3	480(±0)	3.5①	長谷川浩大(栗東)	112
3	⑮	ママコチャ	牝6	56	川田将雅	1/4	9-8	33.8	492(-2)	14.6⑥	池江泰寿(栗東)	109
4	⑫	トウシンマカオ	牡6	58	横山武史	クビ	10-9	33.8	480(+5)	7.3⑤	高柳瑞樹(美浦)	112
5	③	エイシンフェンサー	牝5	56	川又賢治	1 1/2	5-5	34.2	482(+2)	26.1⑧	吉村圭司(栗東)	104
6	①	マッドクール	牡6	58	坂井瑠星	1 1/4	7-5	34.4	540(-2)	7.1④	池添 学(栗東)	105
7	⑥	ルガル	牡5	58	西村淳也	3/4	2-2	34.8	530(-1)	5.7③	杉山晴紀(栗東)	103
8	⑦	ドロップオブライト	牝6	56	幸 英明	アタマ	10-12	34.2	436(-4)	186.4⑦	福永祐一(栗東)	99
9	⑨	ビッグシーザー	牡5	58	北村友一	クビ	1-1	35.1	520(+2)	19.7⑦	西園正都(栗東)	102
10	④	カンチェンジュンガ	牡5	58	武 豊	1/2	10-9	34.5	492(-4)	42.4⑨	庄野靖志(栗東)	101
11	⑪	トゥラヴェスーラ	牡10	58	丸山 元気	1/2	15-15	34.2	484(-10)	171.9⑩	高橋康之(栗東)	100
12	⑮	バルサムノート	牡5	58	亀田温心	1/2	13-13	34.4	518(+6)	234.2⑪	高野友和(栗東)	99
13	⑦	モズメイメイ	牝5	56	松若風馬	ハナ	5-5	35.0	474(+6)	148.3⑫	前川恭子(栗東)	95
14	⑤	オフトレイル	牡4	58	菱田裕二	クビ	18-17	34.0	460(+4)	57.4⑬	吉村圭司(栗東)	98
15	⑨	キタノエクスプレス	牡7	58	国分恭介	1	15-15	34.4	510(+4)	130.5⑭	坂口智康(栗東)	95
16	②	ウイングレイテスト	牡8	58	松岡正海	1/2	4-2	35.5	516(±0)	91.3⑮	畠山吉宏(美浦)	94
17	⑪	スズハローム	牡5	58	佐々木大輔	3/4	17-18	34.8	458(-8)	170.4⑯	牧田和弥(栗東)	85
18	⑬	ベアボルクス	牡4	58	岩田康誠	1 1/4	2-2	36.3	476(+4)	56.5⑰	梅田智之(栗東)	82

単勝⑩380円(2<sup>♂</sup>) 複勝⑩160円(2<sup>♂</sup>) ⑩140円(1<sup>♂</sup>) ⑤330円(6<sup>♂</sup>) 枠連⑤-⑦670円(1<sup>♂</sup>)

馬連⑩-⑭820円(1<sup>♂</sup>) ワイド⑩-⑭360円(1<sup>♂</sup>) ⑩-⑮1,150円(12<sup>♂</sup>) ⑭-⑮860円(10<sup>♂</sup>)

馬単⑩-⑭1,460円(1<sup>♂</sup>) 3連複⑩-⑭-⑮2,900円(6<sup>♂</sup>) 3連単⑩-⑭-⑮11,080円(16<sup>♂</sup>)

5重勝④⑦⑧⑫⑮8,035,800円(70票) 対象競走：中山10R／中京10R／阪神11R／中山11R／中京11R



### アラカルト

- ・J.モレイラ騎手は高松宮記念初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算14勝目
- ・堀宣行調教師はキンシャサノキセキで制した11年に続く高松宮記念3勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算78勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算84勝目
- ・6歳馬の勝利は22年ナランフレグに続く通算7回目(GIとなった96年以降)

## サトノレーヴ *Satono Reve*

牡 鹿毛 2019.3.22生  
北海道日高町 白井牧場生産  
馬主・里見治氏 美浦・堀宣行厩舎  
馬名意味・冠名+夢(仏)

ミスブゼンNZ系 F18

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat サルトガデュUSA
	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー サクラハゴロモ
チリエージュ 栗毛 2001	メガミゲラン 鹿毛 1992	シェイデイハイツGB モガミゲラン

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5

## INTERVIEW

岩崎拓麻場長(白井牧場)

### 本当に頑張ってくれたと思います

テレビの画面越しでしたが、程よく気合を出してパドックを周回する姿を見て調子の良さを確信しました。12月の香港からの帰国初戦でしたが、本当に頑張ってくれたと思います。堀厩舎の方々をはじめ、この馬に関わったすべての皆様に感謝いたします。大きなタイトルを獲ってくれましたので、今後はそのタイトルに恥じないような活躍を期待しています。

A.Takeda



## パワフルな末脚で春の短距離王の座へ

3頭のスプリントG1ウイナーが参戦した今年の高松宮記念だが、レースの「中心」と目されたのは2頭のG1未勝利馬。昨年の2着をはじめ、頂点のタイトルの手前で悔しい足踏みを重ねてきたナムラクレアが9度目のG1挑戦で大願を叶えるか、サトノレーヴが昨秋のスプリンターズS(1番人気7着の汚名返上を果たすが焦点となった。結果的にも両馬は1、2着を独占。とはいえ1番人気に支持されたナムラクレアの悲願は果たせず、勝利の軍配はサトノレーヴに上がった。

2日前から前日の朝にかけて降った雨の影響は免れ、6年ぶりに良馬場で行われたレースは、プリンカーを着用して臨んできた京阪杯の覇者ビッグシーザーが先導。激しい先行争いを制し、3コーナーで主導権を握った同馬をマークするように、3番人気に支持された昨年度の最優秀スプリンター・ルガルが続く。サトノレーヴのJ・モレイラ騎手は中国を追走。後方を進んだナムラクレアは4コーナーでその背後に取り付いた。

4コーナーで前に並びかけたルガルと、しぶとく抵抗するビッグシーザーの争いは直線の坂にかけて続いたが、坂上ではエイシンフェンサー、さらに2年前の最優秀スプリンター・ママコチャが先頭を窺う形勢に。とはいえ、馬場の真ん中に持ち出され、加速にかかったサトノレーヴはパワフルな末脚を繰り出してこれらを一蹴。外から追い込んだナムラクレアの追撃も抑えてゴールに飛び込んだ。

短距離重賞を3勝したハクサンムーンの半弟で、そのライバルでもあったロードカナロアを父に持つ本馬は昨年5歳を迎えて本格化。函館スプリントS、キーンランドCを連勝し、サマープリントシリーズの王者に輝いた。続くスプリンターズSは出足がひと息で流れに乗れず、1番人気の支持に応えられなかったものの、暮れの香港スプリントでは0秒1差の3着と気を吐き、確かな地力を証明。この日も「強い」と周囲を唸らせるような走りを披露、春の短距離王の座へ駆け上がった。

### 父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央、香19戦13勝(香港スプリント<sup>G1</sup>2回、安田記念<sup>G1</sup>、スプリンターズS<sup>G1</sup>2回、高松宮記念<sup>G1</sup>)、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20～24年日本リーディング2位〔代表産駒〕アーモンドアイ(ジャパンC<sup>G1</sup>2回、ドバイターフ・首<sup>G1</sup>、天皇賞(秋)<sup>G1</sup>2回、桜花賞<sup>G1</sup>、オークス<sup>G1</sup>、秋華賞<sup>G1</sup>、ヴィクトリアマイル<sup>G1</sup>)、サートゥルナーリア(皐月賞<sup>G1</sup>、ホープフルS<sup>G1</sup>)、ダノンスマッシュ(香港スプリント<sup>G1</sup>、高松宮記念<sup>G1</sup>)、パンサラッサ(ドバイターフ・首<sup>G1</sup>、サウジC・沙<sup>G1</sup>)、ベラジオオペラ(大坂杯<sup>G1</sup>2回)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ<sup>G1</sup>)、タガロア Tagaloa(ブルーダイヤモンドS・豪<sup>G1</sup>)、ファストフォース(高松宮記念<sup>G1</sup>)、サトノレーヴ(本馬)、コスタノヴァ(フェブラリーS<sup>G1</sup>)、ブレイディヴェグ(エリザベス女王杯<sup>G1</sup>)、ダノンスコーピオン(NHKマイルC<sup>G1</sup>)、レッドルゼル(JBCスプリント<sup>Jb I</sup>)、他に重賞勝ち馬多数

### 母チリエージュ

北海道門別町 白井牧場生産 中央28戦5勝(鳥羽特別、久多特別、別府特別)、23年用途変更

ハクサンムーン(09 牡父アドマイヤムーン)中央29戦7勝(セントウルS<sup>GII</sup>、アイビスサマーダッシュ<sup>GIII</sup>、京阪杯<sup>GIII</sup>、道頓堀S、出石特別、スプリンターズS<sup>G1</sup>2着、高松宮記念<sup>G1</sup>2着、高松宮記念<sup>G1</sup>3着)、種牡馬  
ベビーイッツユー(10 牝父ダイワメジャー)中央16戦1勝  
ビービーグラン(11 牝父アドマイヤムーン)中央3戦0勝、地方4戦1勝  
アヴァンギャルド(12 牡父マンハッタンカフェ)中央2戦0勝、地方2戦0勝  
フェイス(13 牝父アドマイヤムーン)中央6戦0勝、地方1戦0勝  
ウォーリングステイツJPN Warring States(14 牡父ヴィクトワールピサ)独、仏、カタール8戦2勝(パファリアンクラシック・独<sup>G3</sup>)  
マリアパローズ(15 牝父ディーブインパクト)中央17戦1勝  
カズブランバン(16 牝父ロードカナロア)中央2戦0勝  
デルマヤクシ(18 牝父オルフェヴル)中央26戦2勝、障害2戦0勝  
サトノレーヴ 本馬(19 牝父ロードカナロア)中央11戦8勝(高松宮記念<sup>G1</sup>、キーンランドC<sup>GIII</sup>、函館スプリントS<sup>GIII</sup>、春雷S・L、朱雀S、勝油特別)、香1戦0勝(香港スプリント<sup>G1</sup>3着) 獲得総賞金398,460,300円  
ルクルス(20 牝父ハーツクライ)中央7戦1勝 ⑩  
(21 牝父カリフォルニアクロームUSA)  
サトノライトニング(23 牝父サンダーズノーIRE)  
※17(前年種付せず)、22、24(不受精)